

政策の風『りんどう』

第4号 発行 令和3年6月22日

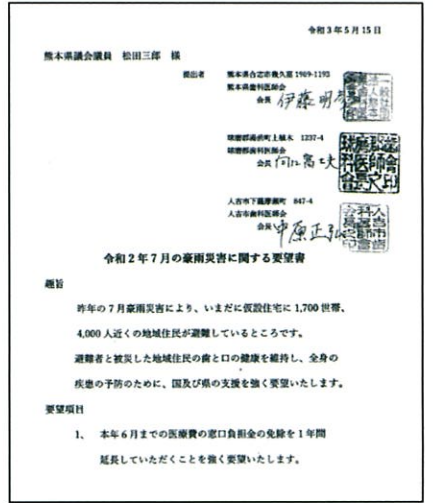


令和2年7月豪雨災害に関する要望書提出

左から向江球磨郡歯会長、松田三郎県連幹事長、中原人吉市歯会長、牛島県歯連盟理事長（県歯専務理事）



令和2年7月に発生した豪雨災害は多大な被害をもたらし、未だ1,800世帯、4,000人近くの方が仮設住宅に避難しています。現在、一定条件を満たした被災者は、医療費の窓口一部負担金を免除されていますが、本年6月までの措置となっています。しかしながら、本連盟会員診療所も含め、多くの被災住民は未だ復興の途中、大変なご苦労をされているところです。また、被災した方々は、まだまだ治療が必要な方も多くいらっしゃいます。そういった方々の、口腔と全身の健康を守るためにも、1年間の一部負担金免除を国に要望していただき、令和3年5月15日（土）球磨郡選挙区選出で、自由民主党熊本県支部連合会幹事長の松田三郎県議会議員へ、人吉市歯科医師会、球磨郡歯科医師会、熊本県歯科医師会の連名で要望書をお渡ししました。松田幹事長からは、「地元の方々の大変な思いは肌身に感じているとことで、なんとか力になりたいと思う。県連を通じ、国にも訴えていきたい」とお言葉を頂きました。



都市連盟鼎談シリーズ 松田三郎県連幹事長 × 球磨郡歯会向江会長 「歯科医療における課題と要望」

牛島県歯連盟理事長（以下牛島） この「りんどう」では、地域の連盟支部から、それぞれの課題や要望について、県議会議員の先生や国議員の先生と対談していく企画をおこなっていきます。シリーズの第1回目として、球磨郡選出で、自由民主党熊本県支部連合会幹事長をお勤めの、松田三郎県議会議員と、球磨郡歯科医師会の向江会長にお願いすることになりました。また、本日は、要望書の提出にご参加いただきました、球磨郡支部の塚本先生と人吉市歯会の中原会長、御手洗先生にもオプザーバーとして参加いただきます。まず向江会長より、要望を含めた歯科の課題等について、プレゼンテーションをしていただきます。

向江富士夫球磨郡歯科医師会会長（以下向江） 今日、は、球磨郡の会員の要望も含め、4点お話をしたいと思います。

「コロナと歯科」

「コロナと歯科」 昨年コロナが広がって始めてメディアで歯科治療は感染リスクが高いとコメントされ、歯科の患者は激減しました。実際は1年にわたって1件もなかった。歯科治療はほとんど外科処置、唾液、飛沫、出血が日常茶飯事で、コロナが出る大昔から感染対策をしていました。フェースシールド、マスク、グローブ、口腔外パキウムを使用し、切削器具はしっかり滅菌、デイスターイル製品を使うなど、皆さんかなり投資をしてくださっています。インフルエンザは口の中を綺麗にすることで感染予防ができるが昔から言われていました。コロナに関しても、口腔内を歯科医院に来てもらって綺麗にすることが重要であり、そういった事実を理解いただきたいと思います。

「水害被害者と医療」 昨年の水害では、翌日から私たちは支援にはいりました。被災直後は高速や国道が寸断され、物資が入ってこない。球磨郡歯科医師会は備蓄がなくて避難所になんとか補助できましたが、歯科用品は備蓄が必要でした。是非各町村、各歯科医院にも備蓄できる体制が必要だと思います。また、このように大変な環境の中被災者の方は頑張っている中で、医療費の負担をあと1年延長してもらいたいと思います。

「歯科医療保険における問題点」 僻地においては医療を受けるにも高齢者は交通費など費用がかなりかかります。所得により負担割合が2割・3割とありますが、是非一律1割にしてほしいと思います。また、歯科・歯科の初再診料における点数格差については、以前よりも縮小してきてはありますが、それでも歯科の初診はとてども時間や労力がかかります。患者さんとのコミュニケーションにどれだけ時間をとっているかという詳細を省略させていただきます。（紙面の都合上、詳細は省略させていただきます）時間をかけて、患者さんのために思っているかという部分が保険で賄えていないのが現状です。また、材料費も高騰しています。特に冠の材料は金銀パラジウム。その価格は20年前に比べて1.1倍。ただ保険点数は2.2倍しか上がっていません。冠を入れるだけで赤字になってしまふ。そういった保険診療の矛盾や問題点がまだ多くあることへのご理解もいただければと思います。

「山田参議の歯科医療勉強会」 日本歯科医師連盟の顧問を務めて頂いている、山田参議院議員は、歯科医師ではないにも関わらず、歯科医療の諸問題について精通し、自身で、歯科口腔医療に関心をもつ自民党国会議員の有氏を身寄り、「歯科口腔医療勉強会」を立ち上げられ、現在53名の議連で歯科口腔医療の充実に取り組んでいただいています。そういった政治家が自由民主党にいらっしゃることを私たちは心強く感じています。是非とも、地元の金子やよし衆議院議員にも歯科界の応援をしていただきたいと思います。

松田三郎県連幹事長（以下松田） 明日、金子先生にお会いします。早速言っておきます。（笑）先ほど仰った患者さんとのコミュニケーションの時間は、大変なものがありますが、そもそも歯科の初再診料の格差は最初はどういう理由ですか？

向江 歯科は出来高払い方式で、治療を行う、かぶせ物や義歯を入れることで診療報酬が発生します。そういった部分で歯科は点数を取りやすいということが多いですね？

牛島 そもそも歯科の初再診料は昭和51年当時と同じだったのですが、歴史的に経年劣化があり、昭和50年後半からの医療費抑制政策で、薬剤の引き下げを財源とする歯科と、厳しいマイナス改定の歯科でどんどん格差が拡大していったようですね。

中原正弘人吉市支部長（以下中原） 日本の医療制度の成り立ち、大学教育、法制度などが、一部昔のままで、そこが縮まりつらい原因にもなっているのは、日本の皆保険制度は、患者さんにとっては、諸外国に比べて大変いい制度ではあるのですが、医療者側の治療に対する対価はとてども低いんです。

松田 自分が思い描く理想の治療と保険制度がなかなかかみ合わないのもそういった部分があるんですね。ところで、今感染拡大が止まらないが、早いワクチン接種が望まれるのですが、歯科医師の先生方もワクチン接種に協力されるのですか？

塚本卓也球磨郡支部長（以下塚本） 今、新型コロナウイルスワクチンを歯科医師に打たせるかどうか問題になっていますが、我々は毎日、狭い口の中に注射をうっています。ですので、きちんと研修をすれば、ワクチンを行うのはそれほど難しくありません。

松田 現場で今働いていない看護師を研修させて接種させようとしているようですが、歯科医師なら研修を受けられるのですか？

塚本 コロナの検査も最初は鼻からでしたが、唾液検査が多く行われています。これも歯科医師は口の中を扱うのが慣れています。ただ、行為を歯科医師が行うことについて、国や医師会が認めてくれなければなりません。

牛島 日本歯科医師会では、国や医師会との協議の中で、今回のワクチン接種についても、違法性の阻却について確認されています。今後、研修を受けた歯科医師は、自治体から依頼が来る地域もあるかと思っています。



松田三郎県連幹事長



向江富士夫球磨郡歯会長

松田 そういった政策的な医療の部分では、職域の政治家の役割は大きいわけですね。ところで、新型コロナウイルスの影響で、先ほど患者さんの受診控えがあったことでしたが、その後はどうですか？

牛島 昨年の4月に、必要のない治療は延期または控えてください。といった厚労省の通知がでて、それをマスクミが取り上げたのがきっかけです。ただ、歯科の病気が勝手には治らず、蓄積してきますので、昨年後半から、患者数はある程度戻ってきているようですね。

松田 その他の影響などはありますか？例えば、訪問診療などで、今施設はコロナ禍でいけないうちではないでしょうか？施設の方が連れてくるのですか？

御手洗人吉市歯会理事（以下御手洗） うちの施設の協力医になっていますが、施設からストレッチャーで連れてこられますが、大変です。

向江 連れてこられる場合もありますが、施設職員の手間もかかるので、私たちが行くことが多いです。ただ、今は感染予防のために、制限がかなりありますし、感染対策に気を使います。

中原 施設ではクラスターの発生率が高いので、施設内に入らず、診療用バスを買われた先生もいます。施設の外にバスをとめてきてもらおう。

松田 施設の高齢者はもちろんですが、介護職員の方も早くワクチンを打てたらいいですね。

牛島 球磨郡の課題として、高齢化率が上がり、訪問診療を希望されている患者さんが増えても、歯科医師の先生方も高齢化し、訪問診療を担う方が少なくて、大変ではないでしょうか？

向江 球磨地域は大変ひろく、依頼があったらその都度行っていますが、山の中など遠いところは、1.5〜2時間かけていくこともあります。体力的にも大変です。最近では「なりたい職業」でも歯科医師はとてども低い順位です。若手の歯科医師が増えないので、訪問歯科の担い手が減っている状況です。さらに時間をかけて行っても、保険点数の採算がとれないので、ボランティア的な要素が多々、根本的な問題となっています。特に、山江村、相良村、球磨村は今無歯科医村になっていますので、住民の方への歯科医療提供が厳しい状態となっています。



（裏面に続く）



令和3年度熊本県歯科医師連盟臨時評議員会は7月24日(土)16:00から熊本県歯科医師会館4F大会議室にて開催予定です。

塚本 また、今私が校医をして
いる小学校では、コロナと災
害で口の中が随分悪くなっ
ています。マスクの影響と水害
による不規則な生活などが影
響していると思います。以前
はとても良かったのですが。

松田 マスクと口の病気の因果
関係はどんなことですか？

塚本 マスクするようになって、
呼吸が増えると、唾液
が減少してむし歯や歯肉炎がふ
えることがあります。これは子
供だけではなく、大人も同じこ
とだと思っています。

松田 大人もマスクの影響がある
のですか？

向江 遅くはないと思いますが、
悪くなるほど、治療費も期間も
かかりますし。早期発見と治療
そして、継続的な健診が必要で
すね。また、歯が残っている人
は入院に関する医療費がすくないというデータがありま
す。

松田 町の保健師の方も、歯を大切にすると先々のためになると
おっしゃいます。錦町は町長から人口に対する糖尿病の方が多
い、と聞いたことがあります。

牛島 熊本県の国保の一人当たり医療費は全国で第7位、特に糖
尿病、骨折、精神疾患、循環器疾患が他県に比べて多く、医療
費がかかっているそうです。蒲島知事がそれらをどうやって抑
えていこうかと、「人生100年くまもとコンソーシアム」と
いう取り組みをはじめられ、私たち歯科医師会も参画していま
す。

中原 まだまだ水害の影響が多く残っています。いろいろなと歯科
でも課題もありますが、是非とも地元の復興のためにも、窓口
負担免除の1年延長をお願いしたいと思っています。

御手洗 被災された方々で、特に働く世代の方々は、これまで治
療どころではなく、懸命に復興作業に取り組んでおられていま
す。そのため、ようやく最近になって治療に来られるようにな
った方も多いいです。そういった方々のためにも、松田先生もい
ろいろとお忙しいでしょうから、まずは一部負担金の延長をお
願いします。

松田 一部負担金免除延長のご要望については、真っ先という
ことはもちろんですが、今日の中身については県の歯科医師
会、連盟の先生方からも折に触れ情報提供いただいたので、だ
いたいわかる部分と今日初めて球磨人吉の現状を伺いまして、
初めて知ったことでもあります。今後定期的に歯科の課題とか
を聞かせていただくと、我々が普段知らないこと多いし、知っ
てるつもりでも全然違っていたり、良かれと思っただけで、知っ
たら全然違う方向だったとならんように、ご指導情報提供いた
だけると。そして私から一つ、県の歯科医師会と懇談する中、県歯
科の役員に人吉球磨の方が少ないので、少なくともこの10年少
ないですね。診療もあつて尚且つ、地域的なハンディもあると
思いますが、是非私からもよろしくお願ひします。

向江 松田先生ありがとうございます。また、どうぞよろしく
お願ひ致します。

牛島 本日は、松田幹事長はじめ、皆様ありがとうございます。
今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。



左から、塚本、牛島、向江、松田、中原、御手洗 (敬称略)

山田宏参議院議員との デンタルミーティング 各郡市支部で開催される



菊池郡市支部

去る令和3年3月17日 午後8時より山田宏参議院議員と菊池郡市の歯科医師連盟会員とのwebミーティングが開催されました。

山田宏先生は2016年の参議院議員選挙で歯科医師連盟の推薦を受け初当選されて以降「健康施策の真ん中に歯科を」をスローガンに活動され、歯科界にとって悲願であった政府の「骨太の方針2017」に初めて歯科の記載がされるに至りました。その内容は年毎にバージョンアップしてゆき「骨太の方針2020」においてはコロナウイルスを念頭に細菌性、ウイルス性の疾患の予防という観点も含めた口腔の健康と全身の健康の関連性が記載されています。またそれに伴い、歯科保健に関する国の予算も当初の約4倍に上る実績を上げておられることは皆さまご承知のとおりです。

菊池郡市においてもその波及効果は著しく、地域歯科保健事業の重要性が認知され菊池圏域の2市2町と歯科医師会との間で嘱託医契約を締結することができました。

今回のデンタルミーティングでは、このような山田先生の数々の実績の陰に積み上げられた日々の地道な活動を知ることができました。

先生は議員の有志で「歯科口腔勉強会」を立ち上げて、毎月53名余の会員が歯科に関わる知識や施策についてのシェアを行い、その内容を基に様々な提言、要望をされているそうです。

また昨年末より算定可能になった「新型コロナウイルス感染症での乳幼児加算」についても9月末までの延長に留まらず、恒常的な点数に取り込んでゆく予定だそうです。

最後になりましたが、去る10月30日に行われた日本歯科医師連盟第141回臨時評議員会において、次期参議院比例代表選挙における日歯連盟推薦候補者(組織代表)が山田宏先生に決定しました。様々の政策立案の場面で歯科の突破口を築いていただいた先生に引き続き国政に携わっていただき、さらなる「健康施策の真ん中に歯科」を実現されることを祈念いたします。

(菊池郡市支部長 高木公康)

天草郡市支部

3月19日(金) 午後7時30分より天草プラザホテル2F会議室をベース基地にしてデンタルミーティング(山田宏参議院議員講演会)がWeb講演会として開催された。

講師である山田議員には東京から講演と質疑応答に立って頂き、天草郡市歯科医師会 森口会長の開会の挨拶を天草市内の会議室から行い、県歯連盟会長 伊藤会長の挨拶は熊本市内から行われた。そしてこのデンタルミーティングの司会進行とWeb機材の操作については天草市内の会議室で行われた。講演の視聴については、この会議室に集合して視聴した会員が12名、パソコンによるWeb視聴の会員が7名でWebと会場集合の両方から選択できるハイブリッド型の講演会であった。

山田議員は来年の参議院選挙における歯科医師連盟の公認候補であり、その活動、活躍が注目されています。「歯科医師でない者に歯科の内情がわかるのか?」という一部意見もあるようですが、歯科医師でないからこそ逆に囚われのない客観的な判断のもとに、説得力のある講演をして頂きました。またなぜ歯科医療とかわかりあうようになったのかを東京の杉並区長時代の経験を踏まえてお話されました。

講演会や会合について、私は実際に集まって行う従来の集合型が好みですが、それが心配な方、困難な方も存在します。また感染の多い地域から演者を実際に招くこと、都会の多忙な演者を地方に招くことも困難ですが、それらはWeb利用で対応可能である。今回の講演も山田議員本人が東京から熊本に実際に来て行うことは困難でもWebでは可能だったように、今後の会合、講演を行う上での可能性の広がりを示した。

(天草郡市支部 内崎祐一)



天草支部におけるデンタルミーティングの様子

球磨郡支部・人吉市支部

4月6日(火) 午後7時から球磨郡歯科医師会と人吉市歯科医師会の合同で球磨郡あさぎり町の公共施設イベントホール「ポッポー館」にて参議院議員山田宏先生とのデンタルミーティングをインターネットで開催した。ミーティングの内容としては、山田先生の現在までの政治活動の報告とコロナ感染症禍での歯科医療、特に口腔ケアでのコロナ予防の必要性の啓発活動に尽力しておられる事を説かれた。両歯科医師会からは、球磨・人吉地方は昨年の7月4日の豪雨災害により甚大な被害を受け、現在も復興作業の最中である事、そのためには政治的支援が最も重要であり、今後も更なる継続的支援が必要とされることをお願いした。

球磨・人吉地域では、現在もまだ1,800世帯、約4,000人の避難者がありもう直ぐ終了予定の医療費無料化の更なる延長を嘆願した。

(球磨郡支部長 塚本 卓也)

県歯連盟本部も参加(伊藤会長、牛島理事長)



県歯連盟では、山田宏参議院議員とのデンタルミーティングを開催していただける郡市支部を募集しております。詳細は県歯連盟事務局(担当 田尻)までお問合せください。